

## 「親子で楽しむ芸術の秋、読書の秋～想から創へ～」



10月24日(土)

県内在住の小学生とその保護者を対象とした新規事業「親子で楽しむ芸術の秋、読書の秋～想から創へ～」に10家族29名が参加してくれました。

県立図書館や益子図書館友の会の皆様から、本の紹介などをしていただきました。



益子町の図書室を利用して、24日の夜に予定されている親子読み聞かせで読む本を親子で選びました。読み聞かせの時間が待ち遠しいですね。



午後は、芳賀青年の家に移動して活動開始です。最初の活動は、益子町観光ボランティアガイドの説明を受けながら西明寺見学を行いました。



西明寺の閻魔(えんま)堂前で、益子かたりべの会による益子に伝わる民話を聞きました。参加者の皆さんも真剣に聞き入っていました。



夕食後には、押し花クラフトを生かしてしおり作りとフォトフレームやティッシュボックスに押し花で飾りをつける活動を行いました。福祉園芸「かすみ草」の方々に御協力いただき、すてきな作品が数多くできあがりしました。



いよいよ午前中に借りてきた本の読み聞かせのスタートです。参加家族ごとに、選んだ本の紹介や思いを発表してもらいました。参加された家族ごとの思いが伝わり、心がほっこりしました。



親子読み聞かせの時間です。館内の家族ごとに選んだ場所で、それぞれの家族の時間が静かに流れていました。読書の秋にふさわしい、素晴らしい光景でした。



10月25日(日)

主催事業2日目は、1日目の活動から感じた思いを生かした創作活動(手びねり陶芸)を行いました。一人一人が思いを込めた、世界に一つだけの陶芸作品となりました。



2日間の主催事業も無事に終わることができました。新型コロナウイルス感染予防にも気をつけながらの実施でしたが、参加者の皆さんの御協力により、素晴らしい事業となったことに感謝申し上げます。



参加者の皆さん、2日間大変お疲れ様でした。これからも、皆さんに満足していただける事業を計画していきます。

また、お目にかかれる日を、芳賀青年の家職員一同楽しみにしています。